

三ツ星ベルトのウレタンゴム系塗膜防水材

ネオレタン[®]防水

人を想い、
地球を想う



三ツ星ベルト株式会社

(2020年9月改訂)

三ツ星ベルトのウレタンゴム系塗膜防水材

ネオレタン® 防水

用途

- 一般屋上防水(新築・改修など)
- ベランダ・バルコニー・開放廊下など

特長

- 環境対応品です。
- 冷工法です。
常温自然硬化型2液タイプで、均一な弾性塗膜を形成します。
- 施工が簡単です。
作業性が良く、複雑箇所も簡単に塗布でき、大幅な工期の短縮が可能です。
- シームレスな防水システムです。
- 加硫ゴム系シート防水材との併用工法も可能です。

【F☆☆☆☆とは】

快適で健康的な住宅で暮らすためのシックハウス対策の規制導入として、改正建築基準法が平成15年7月1日に施工されました。シックハウスの原因となる化学物質の室内濃度を下げるため、建築物に使用する建材や換気設備を規制する法律です。対象は住宅、学校、オフィス、病院等、全ての建築物の居室となります。内装仕上げに使用するホルムアルデヒドを発生する建材には、右図のような制限が行なわれます。

ウレタンゴム系塗膜防水材は法的な規制を受けませんが、ネオレタン防水は日本ウレタン建材工業会「ホルムアルデヒド自主規制表示申請要領」に基づきF☆☆☆☆表示を取得しております。

ホルムアルデヒド放散等表示申請書

三ツ星ベルト株式会社

日本ウレタン建材工業会「ホルムアルデヒド自主規制表示申請要領」に基づき、ホルムアルデヒド放散量を測定し、下記の数値が承認され、F☆☆☆☆表示を取得しております。

品名	規格
1. 床用ウレタン	ホルムアルデヒド放散量 0.05以下
2. 床用ウレタン	ホルムアルデヒド放散量 0.05以下
3. 床用ウレタン	ホルムアルデヒド放散量 0.05以下
4. 床用ウレタン	ホルムアルデヒド放散量 0.05以下
5. 床用ウレタン	ホルムアルデヒド放散量 0.05以下
6. 床用ウレタン	ホルムアルデヒド放散量 0.05以下
7. 床用ウレタン	ホルムアルデヒド放散量 0.05以下
8. 床用ウレタン	ホルムアルデヒド放散量 0.05以下

ホルムアルデヒド放散等検区分
F☆☆☆☆

建築材料の区分	ホルムアルデヒドの発散	JIS、JASなどの表示記号	内装仕上げの制限
建築基準法の規制対象外	↑ 少ない ↓ 多い	F☆☆☆☆	制限なしに使える
第3種ホルムアルデヒド発散建築材料		F☆☆☆	使用面積が制限される
第2種ホルムアルデヒド発散建築材料		F☆☆	
第1種ホルムアルデヒド発散建築材料		旧E2、Fc2 又は表示なし	使用禁止

【特定化学物質障害予防規則(特化則)とは】

厚生労働省が化学物質によって健康障害を受けることを予防する目的で特定化学物質障害予防規則が制定されています。

対象となる化学物質は、労働安全衛生法施工令で定められ特定化学物質といえます。

※ネオレタンは特定化学物質を含むため、特化則に基づいて取扱う必要があります。特化則非該当品をお求めの場合、当社の「ネオレタンリード」のカタログをご覧ください。

ネオレタン防水の仕様No.と特長・用途

適用部位：一般平場部		主防水材	通気緩衝材	補強材	公共建築工事標準仕様書	特長	主な用途			掲載項
工法名称	仕様No.						屋上	バルコニー・ベランダ	開放廊下	
複合通気緩衝防水工法 (自着層付き緩衝シート)	NRMS-39	ネオレタン N	○		X-1 対応	シート単体で防水機能を有する複合通気緩衝シートによる防水工法です。	◎	○		3・9
通気緩衝防水工法 (穴なし緩衝シート)	NRMC-26		○				◎	○		4
	NRMC-39		○		X-1 対応	ネオレタンNと通気緩衝シートを組み合わせ防水層の膨れを防止します。	◎	○		4・10
通気緩衝防水工法 (穴あり緩衝シート)	NRM-39		○		X-1 対応		◎	○		4・10
密着防水工法	NRC-26			○		ネオレタンNを使用したクロス補強タイプの密着防水工法です。	◎	◎	◎	5
	NRC-39			○	X-2 対応		◎	◎	◎	5・10
	NR-26						○	○	○	5
	NR-39					ネオレタンNを使用した柔軟性と耐候性を持つ防水層を形成します。	○	○	○	5

適用部位：立上り部		主防水材	通気緩衝材	補強材	公共建築工事標準仕様書	特長	主な用途			掲載項
工法名称	仕様No.						屋上	バルコニー・ベランダ	開放廊下	
密着防水工法	MTC-28X	ネオレタン T		○	X-1 対応 X-2 対応	ネオレタンTを使用したクロス補強タイプの立上りの防水工法です。	◎	◎	◎	6・10
	MTC-28			○		ネオレタンTを使用したクロス補強タイプの立上りの防水工法です。	◎	◎	◎	6
	MT-28					ネオレタンTを使用した柔軟性と耐候性を持つ立上りの防水工法です。	○	○	○	6

適用部位：側溝・巾木部		主防水材	通気緩衝材	補強材	公共建築工事標準仕様書	特長	主な用途			掲載項
工法名称	仕様No.						屋上	バルコニー・ベランダ	開放廊下	
長尺シート防水工法	NRS-S22	ネオレタン S				長尺シートとネオレタンSを使用した開放廊下の防水工法です。		○	◎	7
密着防水工法	NRS-22					ネオレタンSを使用した開放廊下の防水工法です。		○	◎	7

適用部位：ベランダ・バルコニー部		主防水材	通気緩衝材	補強材	公共建築工事標準仕様書	特長	主な用途			掲載項
工法名称	仕様No.						屋上	バルコニー・ベランダ	開放廊下	
密着防水工法	NRC-26	ネオレタン N		○		ネオレタンNを使用したクロス補強タイプの密着防水工法です。	◎	◎	◎	8
	NRC-39			○	X-2 対応		◎	◎	◎	8
	NR-26						○	○	○	8
	NR-39					ネオレタンNを使用した柔軟性と耐候性を持つ防水層を形成します。	○	○	○	8

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
 公共建築工事標準仕様書 平成31年度版仕様
 公共建築改修工事標準仕様書 平成31年度版仕様 (対応仕様：9,10ページに記載)

種別	X-1(絶縁工法)		X-2(密着工法)	
工程	材料・工法	使用量(kg/m ²)	材料・工法	使用量(kg/m ²)
1	接着剤塗り 通気緩衝シート張り ^{(注)5}	0.3	プライマー塗り	0.2
2	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	3.0 ^{(注)1} 、 ^{(注)4}	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り 補強布張り	0.3 ^{(注)1}
3	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り		ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	2.7 ^{(注)1}
4	仕上塗料塗り ^{(注)6}	—	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	(1.7) ^{(注)2} 、 ^{(注)4}
5	—	—	仕上塗料塗り ^{(注)6}	—

- (注) 1.表中のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物密度が1.0Mg/m²である材料の場合を示しており、硬化物密度がこれ以外の場合にあつては、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。
 2.立上り部は全て、種別X-2とし、工程3及び工程4を()内とする。
 3.ウレタンゴム系塗膜防水材塗りについては、1工程当たりの使用量を、硬化物密度が1.0Mg/m²である材料の場合、平場は2.0kg/m²、立上りは1.2kg/m²を上限として変更することができる。
 4.ウレタンゴム系塗膜防水材塗りとは2回以上に分割して塗り付ける。
 5.接着剤以外による通気緩衝シートの張付け方法は、主材料の製造所の仕様による。
 6.仕上塗料の種類及び使用量は、特記によれば、特記がなければ、使用量は、主材料の製造所の仕様による。
 7.L4X工法で既存防水層の表面に層間接着用プライマーを塗布した場合は、工程1を省略する。
 (公共建築改修工事標準仕様書のみ)
 ※種別X-1において、脱気装置の種類及び設置数量は、特記による。特記がなければ、主材料の製造所の仕様による。

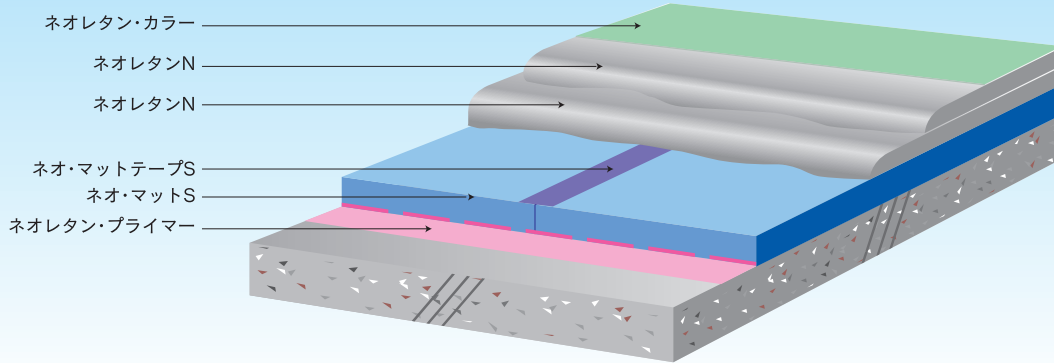
一般平場工法

複合通気緩衝防水工法

仕様 **NRMS**

屋上

ベランダ
バルコニー



工 程		単位	仕様No.	NRMS-39	X-1 対応
平 場 部	① ネオレタン・プライマー	kg/m ²		0.2	
	② ネオ・マットS ^{#1}	m/m ²		1.04	
	③ ネオレタンN	kg/m ²		2.0	
	④ ネオレタンN	kg/m ²		1.9	
	⑤ ネオレタン・カラー	kg/m ²		0.2	
平均塗膜厚				3.0mm	
通気緩衝シート厚				1.4mm	

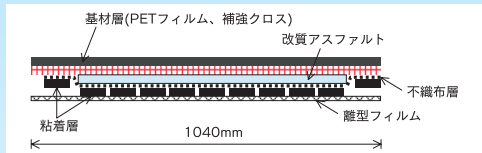
注1: ネオ・マットSの末端部にはネオ・マットテープT+ネオ・クロスで補強処理してください。
 ネオ・マットSの短辺接合部にはネオ・マットテープS+ネオ・マットテープTで補強処理してください。
 ※ 脱気筒を50~100m²に一箇所、設置してください。
 ※ 使用目的等に応じて仕上塗料を選択することができます。

自着層付き通気緩衝シート ネオ・マットS

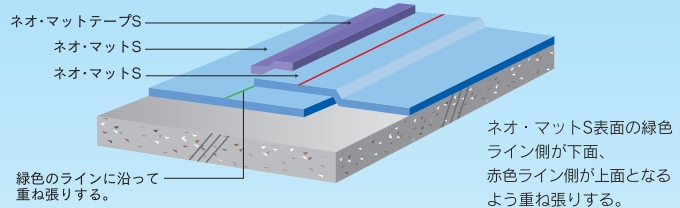
シート表面



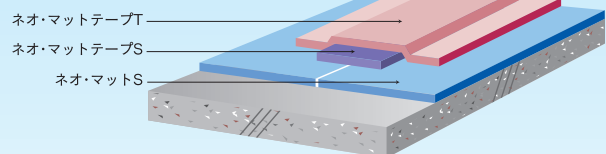
ネオ・マットSの断面



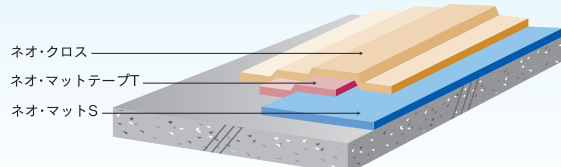
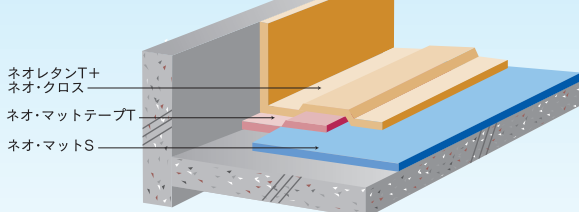
ネオ・マットS長辺部納まり



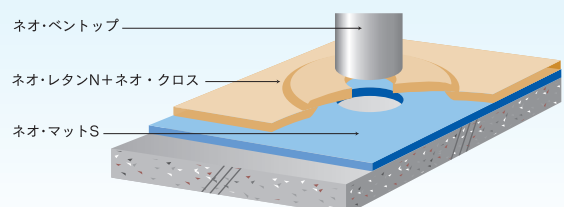
ネオ・マットS短辺部納まり



ネオ・マットS 端末部納まり



脱気筒回り

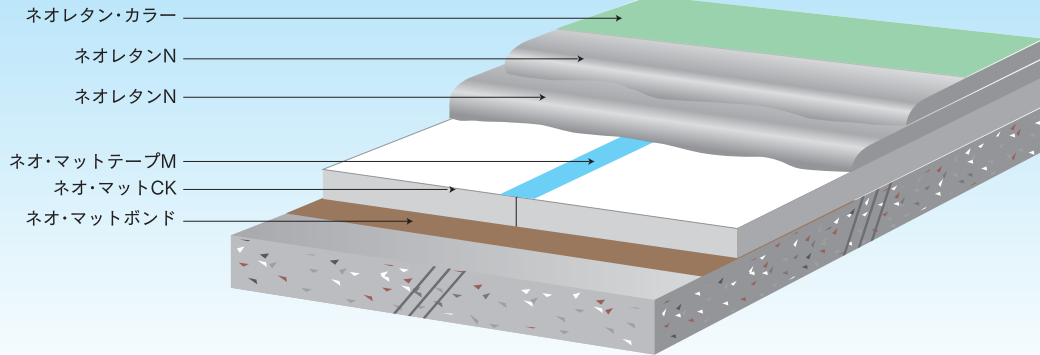


通気緩衝防水工法

仕様 **NRMC**

屋上

ベランダ
バルコニー



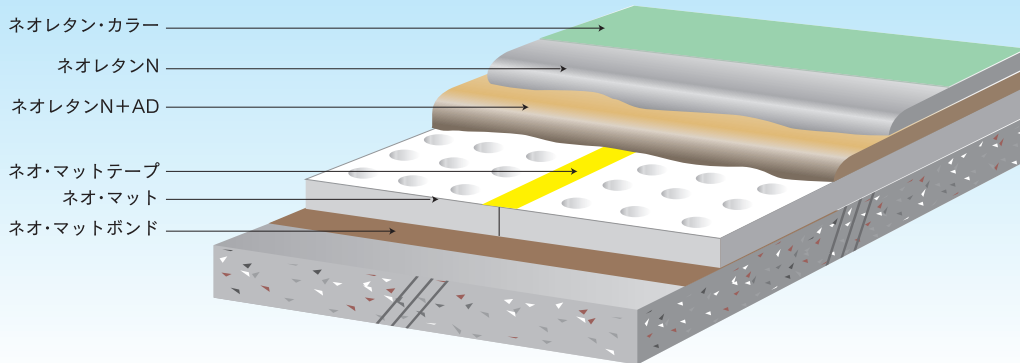
	工 程	単位	仕様No.	NRMC-26	NRMC-39	X-1 対応
平 場 部	① ネオ・マットボンド	kg/m ²		0.3	0.3	
	② ネオ・マットCK	m/m ²		1.0	1.0	
	③ ネオレタンN	kg/m ²		1.6	2.0	
	④ ネオレタンN	kg/m ²		1.0	1.9	
	⑤ ネオレタン・カラー	kg/m ²		0.2	0.2	
平均塗膜厚				2.0mm	3.0mm	
通気緩衝シート厚				1.4mm	1.4mm	

- ※ 脱気筒を50~100m²に一箇所、設置してください。
- ※ 使用目的等に応じて仕上塗料を選択することができます。
- ※ ネオ・マットテープCKも使用可能です。
- ※ ネオ・マットボンドCKも使用可能です。

仕様 **NRM**

屋上

ベランダ
バルコニー

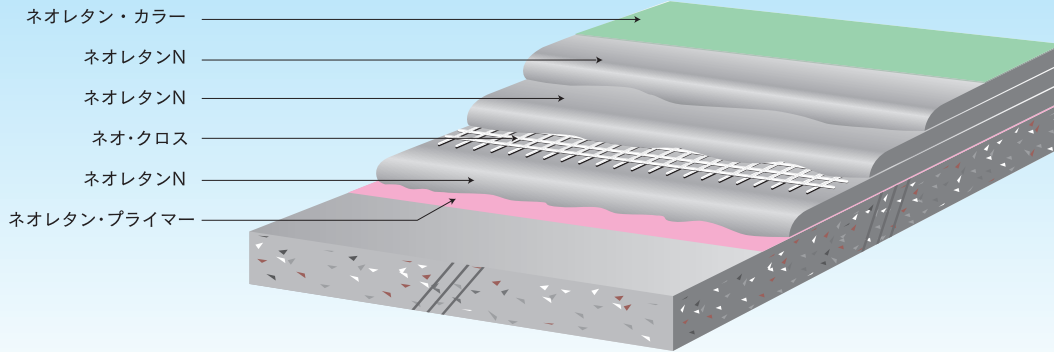


	工 程	単位	仕様No.	NRM-39	X-1 対応
平 場 部	① ネオ・マットボンド	kg/m ²		0.3	
	② ネオ・マット	m/m ²		1.0	
	※ ③ ネオレタンN+AD <small>硬化剤の2%添加</small>	kg/m ²		1.5	
	④ ネオレタンN	kg/m ²		2.4	
	⑤ ネオレタン・カラー	kg/m ²		0.2	
平均塗膜厚				3.0mm	
通気緩衝シート厚				1.0mm	

- ※ 脱気筒を50~100m²に一箇所、設置してください。
- ※ 使用目的等に応じて仕上塗料を選択することができます。
- ※ ネオレタンN+ネオレタンADに替えてネオレタンTの使用もできます。その場合はご相談下さい。
- ※ ネオレタンADの添加要領はP17を参照下さい。

密着防水工法

仕様 **NRC** 屋上 ベランダバルコニー 開放廊下

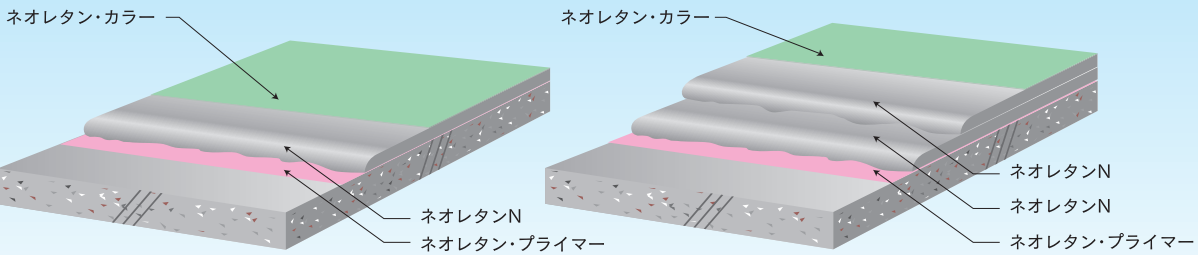


	工 程	単位	仕様No.	仕様No.	
				NRC-26	NRC-39
平場部	① ネオレタン・プライマー	kg/m ²		0.2	0.2
	② ネオレタンN	kg/m ²		0.3	0.5
	③ ネオ・クロス	m/m ²		1.05	1.05
	④ ネオレタンN	kg/m ²		1.3	1.8
	⑤ ネオレタンN	kg/m ²		1.0	1.6
	⑥ ネオレタン・カラー	kg/m ²		0.2	0.2
平均塗膜厚				2.0mm	3.0mm

X-2 対応

※ 使用目的等に応じて仕上塗料を選択することができます。

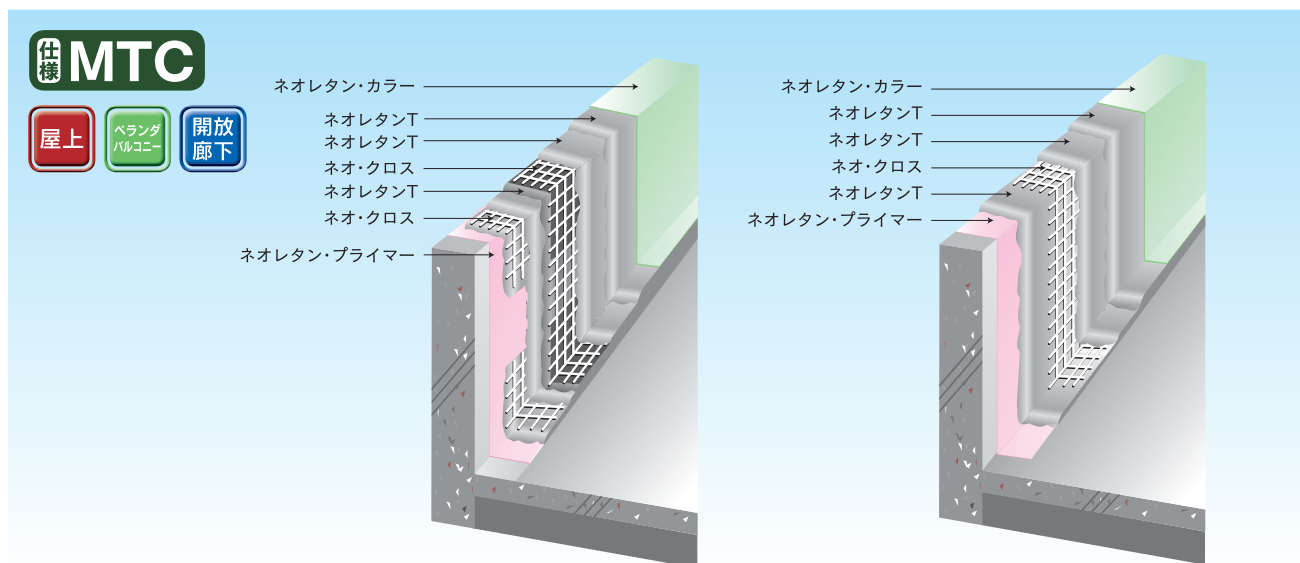
仕様 **NR** 屋上 ベランダバルコニー 開放廊下



	工 程	単位	仕様No.	仕様No.	
				NR-26	NR-39
平場部	① ネオレタン・プライマー	kg/m ²		0.2	0.2
	② ネオレタンN	kg/m ²	2.6	1.6	2.0
	③ ネオレタンN	kg/m ²		1.0	1.9
	④ ネオレタン・カラー	kg/m ²		0.2	0.2
平均塗膜厚				2.0mm	3.0mm

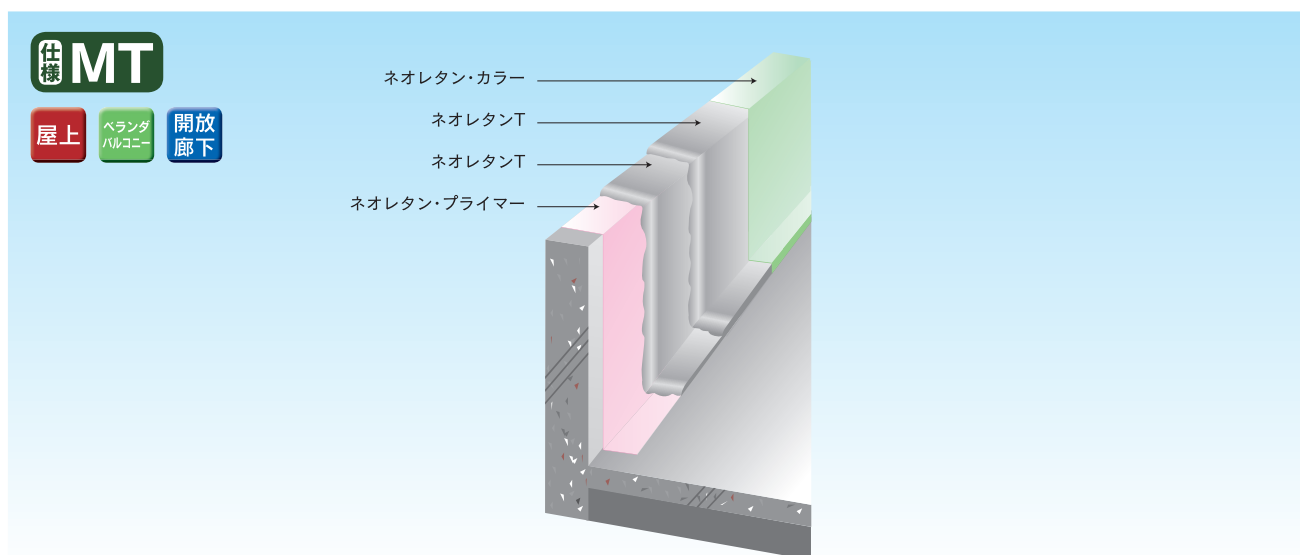
※ 使用目的等に応じて仕上塗料を選択することができます。

立上り工法



	工 程	単位	仕様No.	仕様No.	
				MTC-28X	MTC-28
立 上 り 部	① ネオレタン・プライマー	kg/m ²		0.2	0.2
	② ネオレタンT	kg/m ²		0.3	0.3
	③ ネオ・クロス	m/m ²		1.05	1.05
	④ ネオレタンT	kg/m ²		1.5	1.5
	⑤ ネオレタンT	kg/m ²		1.0	1.0
	⑥ ネオレタン・カラー	kg/m ²		0.2	0.2
平均塗膜厚				2.0mm	2.0mm

※ 使用目的等に応じて仕上塗料を選択することができます。
 ※ MTC-28X工法はX-1・X-2工法の立上り同等仕様です。

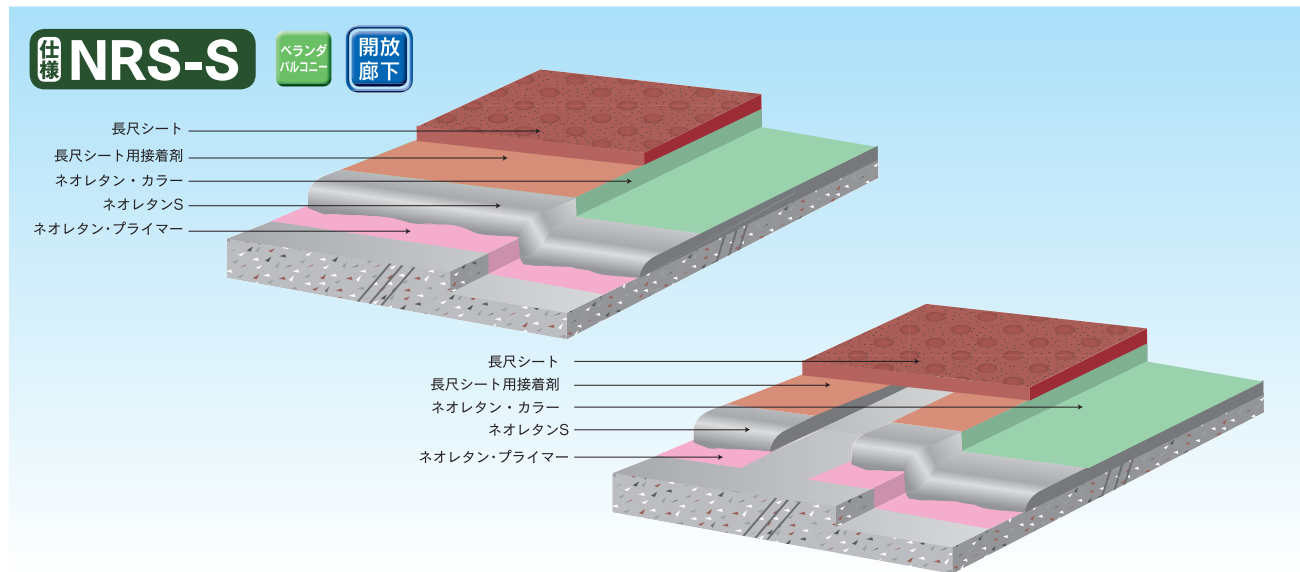


	工 程	単位	仕様No.	仕様No.
				MT-28
立 上 り 部	① ネオレタン・プライマー	kg/m ²		0.2
	② ネオレタンT	kg/m ²		1.4
	③ ネオレタンT	kg/m ²		1.4
	④ ネオレタン・カラー	kg/m ²		0.2
平均塗膜厚				2.0mm

※ 使用目的等に応じて仕上塗料を選択することができます。
 ※ 必要に応じて入隅部にクロス補強等を行ってください。

側溝・巾木工法

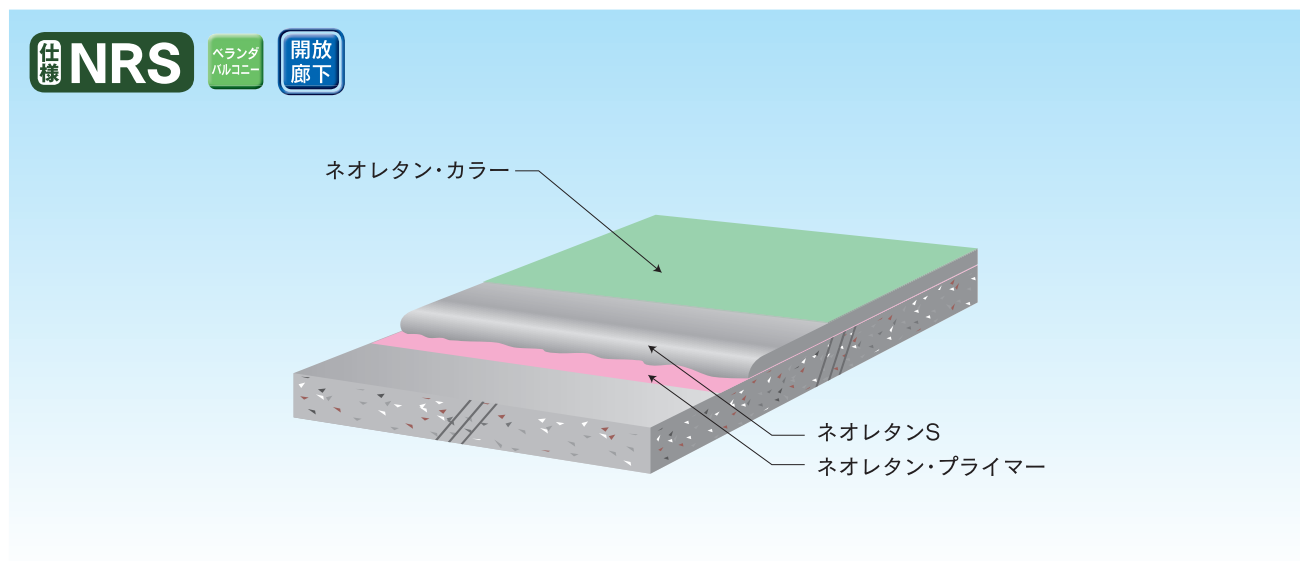
長尺シート防水工法



工 程		単位	仕様No.	NRS-S22
平 場 部	① ネオレタン・プライマー	kg/m ²		0.2
	② ネオレタンS	kg/m ²		2.2
	※ ③ ネオレタン・カラー	kg/m ²		0.2
	④ 長尺シート用接着剤	kg/m ²		—
	⑤ 長尺シート	m/m ²		—
平均塗膜厚				1.6mm

※ 仕上りが長尺シートの箇所はネオレタン・カラーは不要です。
 ※ 使用目的等に応じて仕上塗料を選択することができます。

密着防水工法



工 程		単位	仕様No.	NRS-22
平 場 部	① ネオレタン・プライマー	kg/m ²		0.2
	② ネオレタンS	kg/m ²		2.2
	③ ネオレタン・カラー	kg/m ²		0.2
平均塗膜厚				1.6mm

※ 使用目的等に応じて仕上塗料を選択することができます。

「公共建築(改修)工事標準仕様書」対応仕様

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
 公共建築工事標準仕様書 平成31年度版仕様
 公共建築改修工事標準仕様書 平成31年度版仕様

種別	X-1 (絶縁工法)		X-2 (密着工法)	
	材料・工法	使用量 (kg/m ²)	材料・工法	使用量 (kg/m ²)
1	接着剤塗布 通気緩衝シート張り ^{(注)5}	0.3	プライマー塗布	0.2
2	ウレタンゴム系塗膜防水材塗布	3.0 ^{(注)1、(注)4}	ウレタンゴム系塗膜防水材塗布 補強布張り	0.3 ^{(注)1}
3	ウレタンゴム系塗膜防水材塗布		ウレタンゴム系塗膜防水材塗布	2.7 ^{(注)1} (1.7) ^{(注)2、(注)4}
4	仕上塗料塗布 ^{(注)6}	—	ウレタンゴム系塗膜防水材塗布	
5	—	—	仕上塗料塗布 ^{(注)6}	—

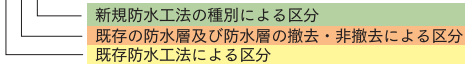
(注)1.表中のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物密度が1.0Mg/m²である材料の場合を示しており、硬化物密度がこれ以外の場合にあつては、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。
 2.立上り部は全て、種別X-2とし、工程3及び工程4を()内とする。
 3.ウレタンゴム系塗膜防水材塗布については、1工程当たりの使用量を、硬化物密度が1.0Mg/m²である材料の場合、平場は2.0kg/m²、立上りは1.2kg/m²を上限として変更することができる。
 4.ウレタンゴム系塗膜防水材塗布は2回以上に分割して塗り付ける。
 5.接着剤以外による通気緩衝シートの張付け方法は、主材料の製造所の仕様による。
 6.仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は、主材料の製造所の仕様による。
 7.L4X工法で既存防水層の表面に層間接着用プライマーを塗布した場合は、工程1を省略する。(公共建築改修工事標準仕様書のみ)
 ※種別X-1において、脱気装置の種類及び設置数量は、特記による。特記がなければ、主材料の製造所の仕様による。

工法の種類	既存防水工法による区分	既存の防水層及び防水層の撤去・非撤去による区分	新規防水工法の種別による区分	加硫ゴム系シート防水の種別	該当する三ツ星ベルトの仕様No.
POX工法	保護アスファルト防水工法	保護層及び防水層非撤去 (立上り部は撤去)	ウレタンゴム系塗膜防水工法 (絶縁工法)	X-1	NRMS-39、NRM-39、NRM-39、MTC-28X
L4X工法	ウレタンゴム系塗膜防水工法	露出防水層非撤去	ウレタンゴム系塗膜防水工法 (密着工法)	X-2*	NRC-39、MTC-28X

* 既存防水層の表面に層間接着用プライマーを塗布した場合は、工程1「プライマー塗布」を省略する。

★工法名称

○○○工法

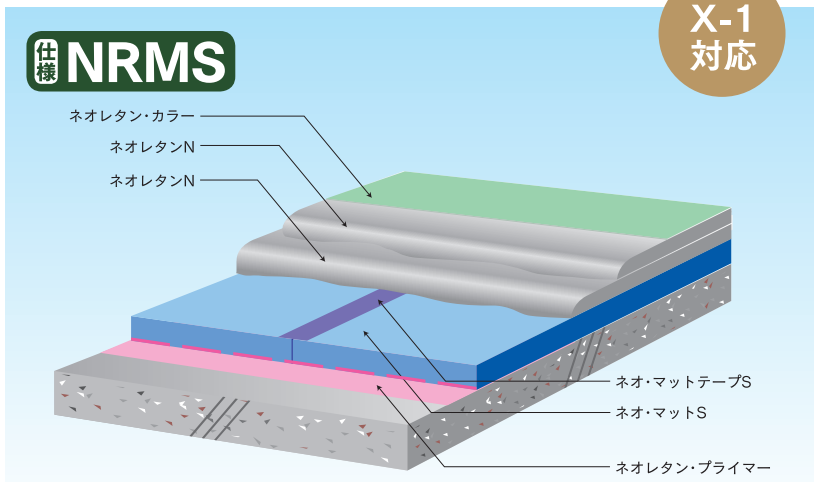


●既存防水工法による区分
 P - 保護アスファルト防水工法*7
 M - 露出アスファルト防水工法*7
 T - 保護アスファルト断熱防水工法*7
 S - 合成高分子系ルーフィングシート防水工法
 L - ウレタンゴム系塗膜防水工法
 (注) *7印のある既存防水工法には、改質アスファルトシート防水を含む

●既存の防水層及び防水層の撤去・非撤去による区分
 1 - 保護層及び防水層撤去
 2 - 保護層撤去及び防水層非撤去 (立上り部等は、撤去)
 3 - 露出防水層撤去
 4 - 露出防水層非撤去 (立上り部等は、表3.1.1による)
 0 - 保護層及び防水層非撤去 (立上り部等は、表3.1.1による)

●新規防水工法の種別による区分
 A - 屋根保護防水密着工法
 B - 屋根保護防水絶縁工法
 AI - 屋根保護防水密着断熱工法
 BI - 屋根保護防水絶縁断熱工法
 C - 屋根露出防水密着工法
 D - 屋根露出防水絶縁工法
 DI - 屋根露出防水絶縁断熱工法
 AS - 改質アスファルトシート防水工法
 ASI - 改質アスファルトシート防水絶縁断熱工法
 S - 合成高分子系ルーフィングシート防水工法
 SI - 合成高分子系ルーフィングシート防水断熱工法
 X - ウレタンゴム系塗膜防水工法
 E - 屋内防水密着工法
 Y - ゴムアスファルト系塗膜防水工法

一般平場工法



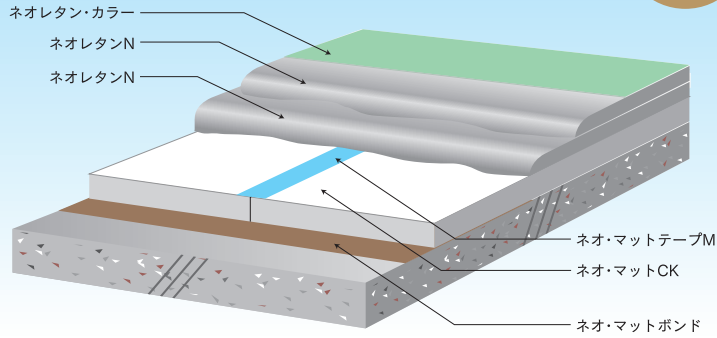
工程	NRMS-39	
	使用材料名	kg/m ²
1	ネオレタン・プライマー	0.2
	ネオ・マットS ^{注2}	(1.04)
2	ネオレタンN	2.0
3	ネオレタンN	1.9
4	ネオレタン・カラー	0.2

()内はm²
 ネオレタンNは硬化物密度を1.3で換算しています。

注2: ネオ・マットSの端部にはネオ・マットテープT +ネオ・クロスで補強処理してください。
 : ネオ・マットSの短辺接合部にはネオ・マットテープS +ネオ・マットテープTで補強処理してください。
 ※脱気筒を50~100m²に一箇所、設置してください。
 ※使用目的等に応じて仕上塗料を選択することができます。

仕様 NRMC

X-1
対応

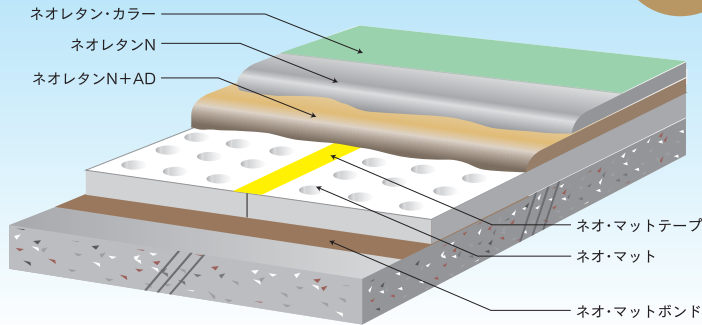


工程	NRMC-39	
	使用材料名	kg/m ²
1	ネオ・マットボンド	0.3
	ネオ・マットCK	(1.0)
2	ネオレタンN	2.0
3	ネオレタンN	1.9
4	ネオレタン・カラー	0.2

()内はm²
ネオレタンNは硬化物密度を1.3で換算しています。
※脱気筒を50~100m²に一箇所、設置してください。
※使用目的等に応じて仕上塗料を選択することができます。

仕様 NRM

X-1
対応



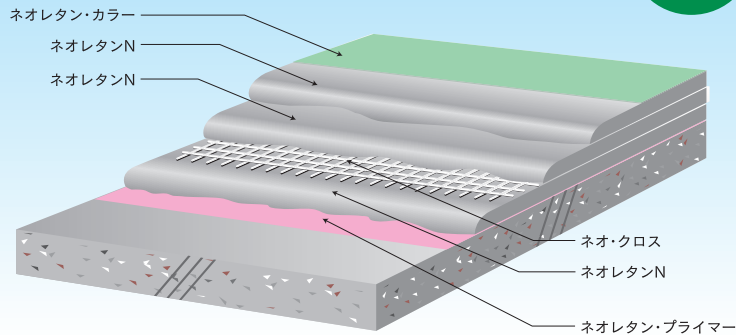
工程	NRM-39	
	使用材料名	kg/m ²
1	ネオ・マットボンド	0.3
	ネオ・マット	(1.0)
2	ネオレタンN+AD <small>硬化剤の2%添加 注1</small>	1.5
3	ネオレタンN	2.4
4	ネオレタン・カラー	0.2

()内はm²
ネオレタンNは硬化物密度を1.3で換算しています。

注1：ネオレタンN+ADに替えてネオレタンTの使用もできますが工程が増えますので事前にご相談下さい。
※脱気筒を50~100m²に一箇所、設置してください。
※使用目的等に応じて仕上塗料を選択することができます。

仕様 NRC

X-2
対応



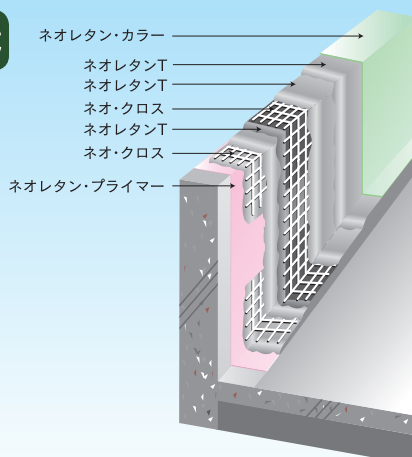
工程	NRC-39	
	使用材料名	kg/m ²
1	ネオレタン・プライマー	0.2
2	ネオレタンN	0.5
3	ネオ・クロス	(1.05)
4	ネオレタンN	2.0
5	ネオレタンN	1.4
6	ネオレタン・カラー	0.2

()内はm²
ネオレタンNは硬化物密度を1.3で換算しています。
※使用目的等に応じて仕上塗料を選択することができます。

立上り工法

仕様 MTC

X-1、X-2共通



X-1
対応

X-2
対応

工程	MTC-28X	
	使用材料名	kg/m ²
1	ネオレタン・プライマー	0.2
2	ネオレタンT	0.3
3	ネオ・クロス	(1.05)
4	ネオレタンT	1.5
5	ネオレタンT	1.0
6	ネオレタン・カラー	0.2

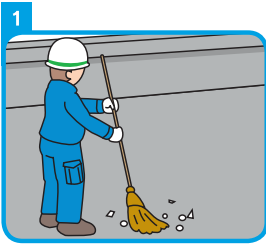
()内はm²
ネオレタンTは硬化物密度を1.4で換算しています。

※使用目的等に応じて仕上塗料を選択することができます。

施工手順

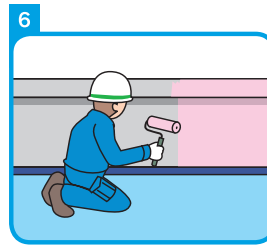
複合通気緩衝防水工法 ネオレタンNRMS(平場・立上り)の場合

※NRMC、NRMの場合は仕様書をご参照下さい。



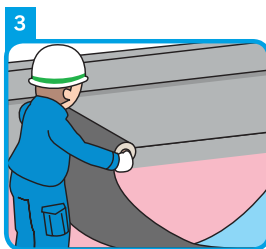
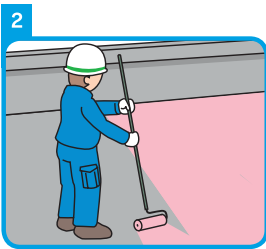
1. 清掃

- 脆弱部は、デッキブラシ、ポリッシャー、スクレーパー等を用いて取り除きます。
- 凹凸は、ポリマーセメントモルタルまたはポリマーセメントペーストを用いて平滑にします。
- 埃、油脂、錆等の汚れは取り除きます。
- パイプ回り、ドレン回りは入念に清掃します。



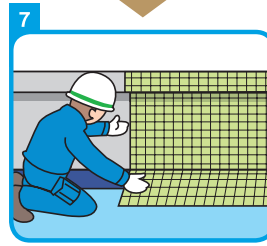
6.立上り プライマー塗布

- ネオレタン・プライマーをローラー刷毛、毛刷毛等を用いて塗布します。



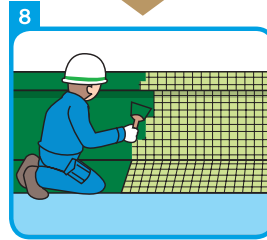
2・3.平場 ネオマットSの張り付け

- ネオレタン・プライマーをローラー刷毛、毛刷毛等を用いてネオ・マットSの幅より少しはみ出す程度に塗布します。
- ネオ・マットSにしわが入らないように裏面のフィルムを剥がしながら張り付けます。
- 長辺接合部は緑色のラインに沿って張り合わせ、端部はネオ・マットテープSを張り付けます。
- 短辺接合部は突付けとし、ネオ・マットテープS、ネオ・マットテープTを張り付けます。
- ローラーなどを用いて転圧します。



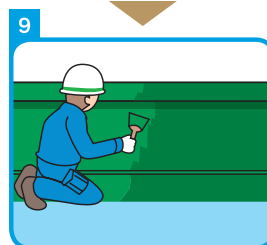
7.立上り ネオ・クロス補強張り

- ネオレタンTをゴムベラ等を用いて均一に塗布します。
- 塗布直後、ネオ・クロスをシワ・浮きのないように張り付けます。
- ネオ・クロスの重ね幅は50mm以上とします。
- 必要に応じて入隅に幅200mm以上のネオ・クロスを補強張りします。



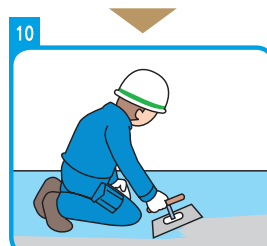
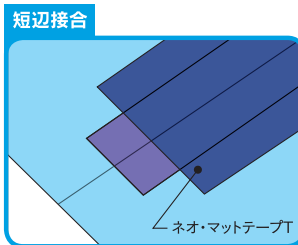
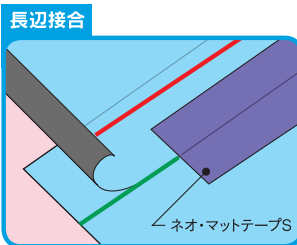
8.立上り ネオレタンT下塗り

- ネオレタンTの主剤・硬化剤を正しい配合比で、攪拌機を用いて十分に攪拌混合します。(3～5分間)
- ネオレタンTをゴムベラ等を用いて均一に塗布します。
- 塗布方法は下から上に塗るようにします。



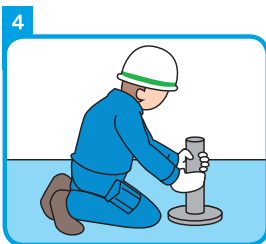
9.立上り ネオレタンT上塗り

- ネオレタンTの主剤・硬化剤を正しい配合比で、攪拌機を用いて十分に攪拌混合します。(3～5分間)
- ネオレタンTをゴムベラ等を用いて均一に塗布します。
- 塗布方法は下から上に塗るようにします。



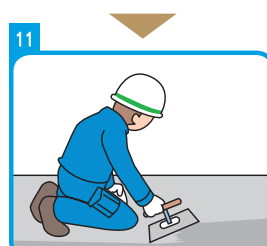
10.平場 ネオレタンN下塗り

- ネオレタンNの主剤・硬化剤を正しい配合比で、攪拌機を用いて十分に攪拌混合します。(3～5分間)
- ネオ・マットSを張り付けた当日に、ネオレタンNを均一に塗布します。
- ネオレタンNを金ゴテ等を用いて均一に塗布します。



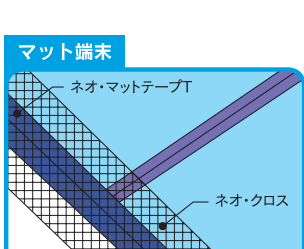
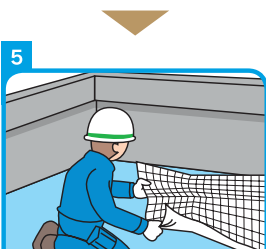
4.平場 脱気筒の取り付け

- 50～100㎡に1個の割合で設置します。
- 出来るだけ水上に取り付けます。
- 脱気筒をビスで固定します。
- 固定後、ネオ・クロスをを用いて補強張りを行います。



11.平場 ネオレタンN上塗り

- ネオレタンNの主剤・硬化剤を正しい配合比で、攪拌機を用いて十分に攪拌混合します。(3～5分間)
- ネオレタンNを金ゴテ等を用いて均一に塗布します。



5.平場 ネオ・マットS端末処理

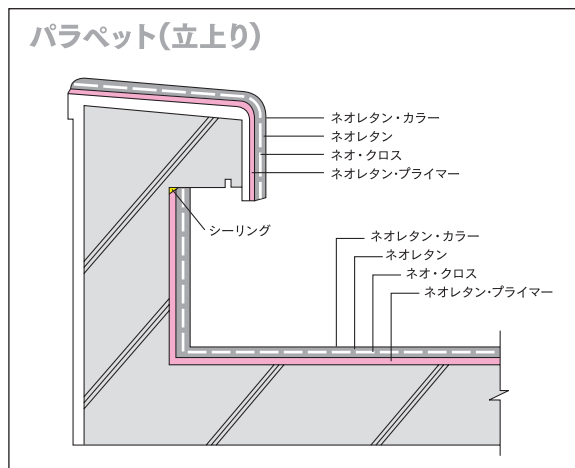
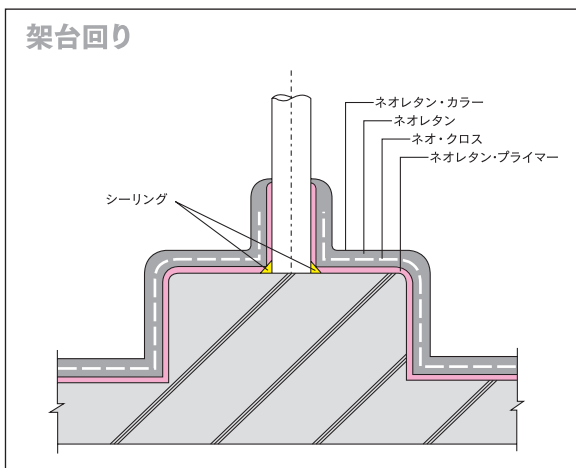
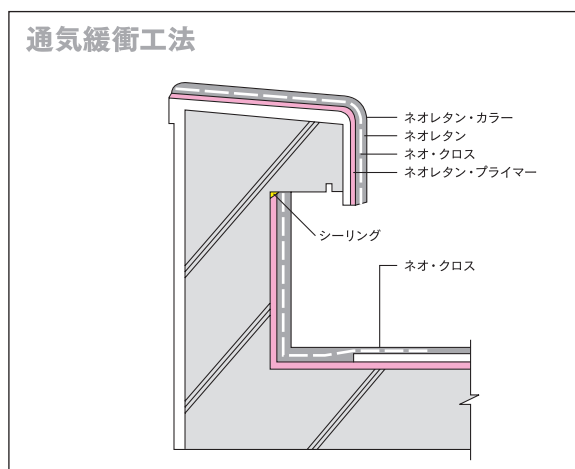
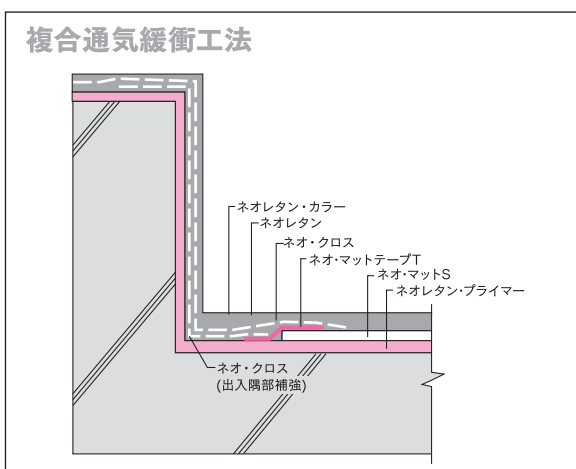
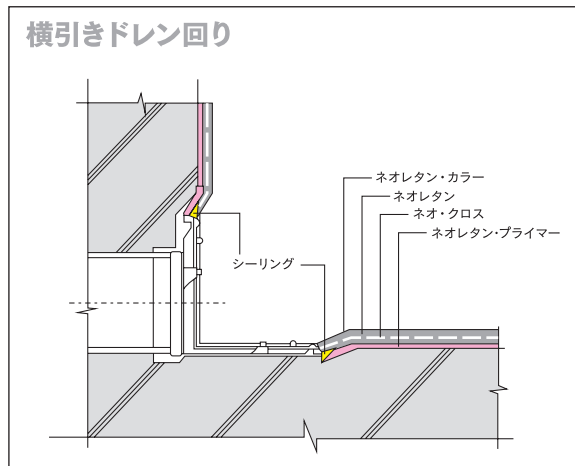
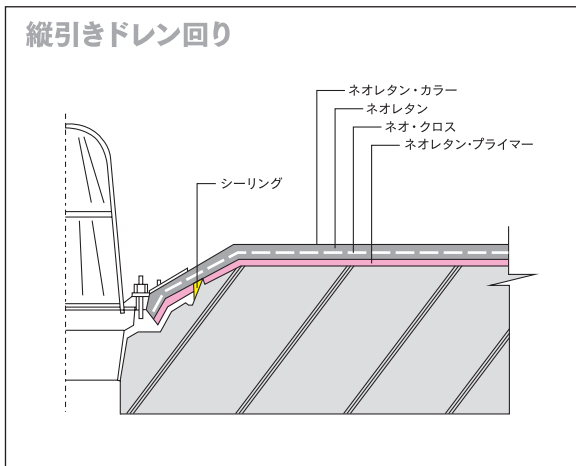
- ネオ・マットSの端末はネオ・マットテープTとネオ・クロスをを用いて補強張りを行います。
- ネオ・クロスのネオ・マットSへのラップ幅は100mm以上とします。



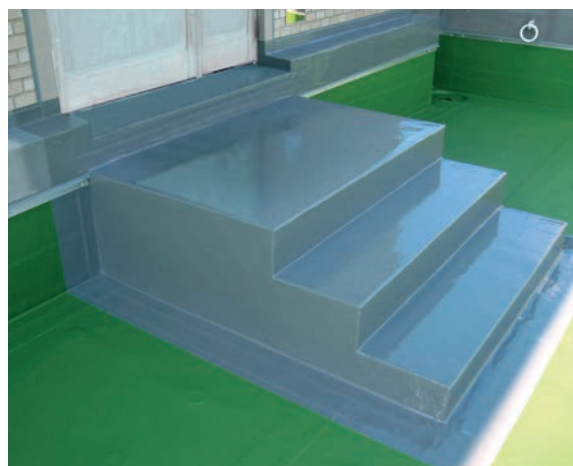
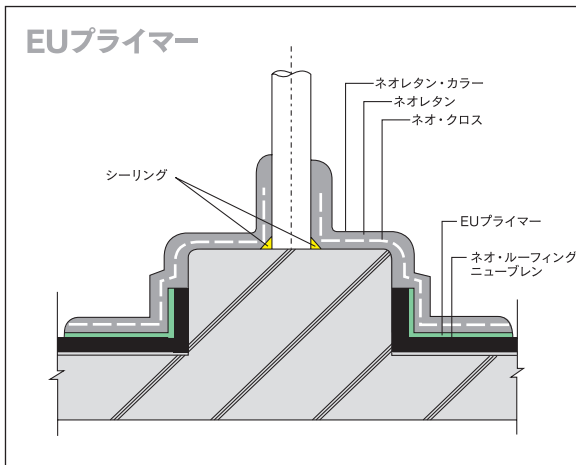
12.全面 ネオレタン・カラー塗布

- ネオレタン・カラーをローラー刷毛、毛刷毛等を用いて均一にむらなく塗布します。

納まり図例



加硫ゴム系シート防水材との併用（施工例）



ウレタンゴム系塗膜防水材

ネオレタン製品一覧表

	品名	適用	規格	備考
防水材	ネオレタンN	平場用ウレタン防水材 2液反応硬化タイプ(1:2配合) 硬化物密度:1.3	〔主剤6kg/角缶 硬化剤12kg/角缶〕 〔主剤8kg/角缶 硬化剤16kg/角缶〕	JIS A 6021 ウレタンゴム系高伸長形 F☆☆☆☆対応品 登録番号NUK-F07259 【環境対応】 *24kg/セットは受注生産になります。
	ネオレタンT	立上り用ウレタン防水材 2液反応硬化タイプ(1:2配合) 硬化物密度:1.4	主剤6kg/角缶 硬化剤12kg/角缶	JIS A 6021 ウレタンゴム系高伸長形 F☆☆☆☆対応品 登録番号NUK-F07260 【環境対応】
	ネオレタンS	側溝・巾木用ウレタン防水材 2液反応硬化タイプ(1:2配合) 硬化物密度:1.4	主剤6kg/角缶 硬化剤12kg/角缶	JIS A 6021 ウレタンゴム系高伸長形 F☆☆☆☆対応品 登録番号NUK-F14791 【環境対応】
プライマー	ネオレタン・プライマー	RC・モルタル下地用プライマー 1液湿気硬化タイプ(溶剤系)	15kg/角缶	F☆☆☆☆対応品 登録番号NUK-F07263 【環境対応】標準塗布量:0.2kg/m ²
	ネオレタン・プライマーK	塗り重ね(層間)用プライマー 1液湿気硬化タイプ(溶剤系)	4kg/角缶	F☆☆☆☆対応品 登録番号NUK-F07264 【環境対応】標準塗布量:0.1kg/m ²
	ネオレタン・プライマーU	金属下地用プライマー 1液湿気硬化タイプ(溶剤系)	4kg/角缶	F☆☆☆☆対応品 登録番号NUK-F14789 【環境対応】標準塗布量:0.1kg/m ²
	EUプライマー	ウレタン防水と加硫ゴムシート防水の取合い部用プライマー 変性クロロプレネ系(溶剤系)	3.2kg/セット(主剤3kg/缶、硬化剤0.2kg/缶)	標準塗布量:0.1kg/m ²
	ネオレタン・プライマーeco	RC・モルタル下地用プライマー 1液湿気硬化タイプ(弱溶剤系)	16kg/角缶	F☆☆☆☆対応品 登録番号NUK-F14790 【環境対応】標準塗布量:0.2kg/m ²
	FRP改修用プライマー	FRP下地用プライマー エポキシ樹脂系2液反応硬化タイプ(溶剤系)	2.8kg/セット(主剤2.1kg/缶、硬化剤0.7kg/缶)	標準塗布量:0.15kg/m ² ※受注生産品
	バイタムシーラー	砂付きアスファルト下地用プライマー(溶剤系)	20kg/角缶	標準塗布量:1.5kg/m ² ※NRMS工法限定 ※受注生産品
	ネオ・バリアプライマー	タールウレタン下地用プライマー エポキシ樹脂系2液反応硬化タイプ(溶剤系)	6kg/セット(主剤5kg/缶、硬化剤1kg/缶)	標準塗布量:0.3kg/m ² (2回塗り) ※受注生産品
仕上塗料	ネオレタン・カラー	アクリルウレタン系塗料 2液反応硬化タイプ(溶剤系) (色調:グレー、ライトグレー、グリーン、ライトグリーン)	15kg/セット(主剤5kg/缶、硬化剤10kg/缶)	F☆☆☆☆対応品 登録番号 NUK-F07266 【環境対応】標準塗布量:0.2kg/m ² ※フィライト(骨材)を混合することで防滑仕上げ対応可能
	ネオレタン・シルバー	アクリルウレタン系塗料 1液湿気硬化タイプ(溶剤系) (色調:シルバー)	16kg/角缶	標準塗布量:0.2kg/m ²
	ネオレタン・カラーeco+	アクリルウレタン系高日射反射率塗料 2液反応硬化タイプ(水性) (色調:グレー、ライトグレー、グリーン)	15kg/セット(主剤13kg/缶、硬化剤2kg/缶)	F☆☆☆☆対応品 登録番号 NUK-F14795 【環境対応】標準塗布量:0.3kg/m ²
	ネオレタン・カラーeco	アクリルウレタン系塗料 2液反応硬化タイプ(水性) (色調:グレー、ライトグレー、グリーン)	16kg/セット(A液1kg/缶、B液15kg/缶)	F☆☆☆☆対応品 登録番号 NUK-F14794 【環境対応】標準塗布量:0.2kg/m ² ※フィライト(骨材)を混合することで防滑仕上げ対応可能
	ネオレタン・カラーH	HALS入りアクリルウレタン系高耐候・高日射反射率塗料 2液反応硬化タイプ(溶剤系) (色調:ライトグレー)	15kg/セット(主剤5kg/缶、硬化剤10kg/缶)	標準塗布量:0.3kg/m ² ※フィライト(骨材)を混合することで防滑仕上げ対応可能 ※受注生産品
	ネオレタン・カラーAS	アクリルシリコン系高耐候塗料 2液反応硬化タイプ(弱溶剤系) (色調:グレー、ライトグレー、グリーン)	15kg/セット(主剤6kg/缶、硬化剤9kg/缶)	【環境対応】標準塗布量:0.2kg/m ² ※フィライト(骨材)を混合することで防滑仕上げ対応可能 ※受注生産品
	ネオ・カラーガイナ	アクリルシリコン系断熱セラミック塗料 (水性) (色調:N-60[グレー]、N-80[ライトグレー]、N-95[ホワイト])	14kg/丸缶	【環境対応】標準塗布量:0.4kg/m ² (2回塗り以上) ※ネオレタン上に塗布する場合、プライマーとしてネオレタン・プライマーKをご使用ください。 ※受注生産品
	ネオ・トップルーフA	アクリル系軽舗装塗料 (水性) (色調:グレー、ライトグレー、グリーン)	18kg/角缶	【環境対応】標準塗布量:0.8~1.2kg/m ² (2回塗り) ※ネオレタン上に塗布する場合、プライマーとしてネオレタン・プライマーKをご使用ください。 ※受注生産品

ネオレタン製品一覧表

	品名	適用	規格	備考
補強布	ネオクロスG	補強クロス材	厚0.24mm×幅1000mm×長100m/巻	ガラスクロス(絡み織リタイプ)
	ネオクロスPC	補強クロス材	厚0.37mm×幅1020mm×長50m/巻	ポリエステルクロス
	ネオクロスCK	補強クロス材	厚0.35mm×幅1020mm×長50m/巻	ポリエステル長繊維クロス
ネオマットS関連 通気緩衝シート ネオマットCK関連 ネオマット関連	ネオ・マットS	NRMS工法用自着層付き通気緩衝シート	厚1.4mm×幅1040mm×長15.7m/巻	特殊フィルム+改質アスファルト系自着タイプ
	ネオ・マットテープS	ネオ・マットS用ジョイントテープ	厚0.05mm×幅50mm×長50m/巻	粘着剤付きポリエステルフィルムテープ
	ネオ・マットテープT	ネオ・マットS用端末・短辺ブリード防止用テープ	厚0.47mm×幅75mm×長25m/巻	ブリード防止層付きチクルテープ
	ネオ・マットCK	NRMC工法用通気緩衝シート	厚1.4mm×幅1000mm×長50m/巻	穴なしポリエステル繊維不織布 帯電防止及び撥水加工
	ネオ・マットテープM	ネオ・マットCK用ジョイントテープ	幅70mm×長25m/巻	粘着剤付き不織布テープ
	ネオ・マットボンド	ネオ・マットCK、ネオ・マット用接着剤	18kg/角缶	ウレタン樹脂系接着剤(溶剤系) F☆☆☆☆対応品 登録番号NUK-F07265
	ネオ・マット	NRM工法用通気緩衝シート	厚1.0mm×幅1000mm×長50m/巻	穴あき積層ポリエステル不織布タイプ
	ネオ・マットテープ	ネオ・マット用ジョイントテープ	厚 低密度部0.28mm 高密度部0.33mm ×幅50mm×長50m/巻	粘着剤付きポリエステルフィルムテープ
	ネオ・マットボンド	ネオ・マット、ネオ・マットCK用接着剤	18kg/角缶	ウレタン樹脂系接着剤(溶剤系) F☆☆☆☆対応品登録番号NUK-F07265
添加剤	ネオレタン ウレタン硬化促進剤	ネオレタン用硬化促進剤 (ネオレタンN、ネオレタンT、ネオレタンS用)	1kg/角缶 15kg/角缶	金属系硬化促進剤 *P17をご参照下さい。
	ネオレタンAD	ネオレタン用液体増粘付与剤 ネオマット用目止め	4kg/角缶	ウレア系硬化増粘付与剤 (計量カップ別売 5個/箱)
	ネオレタンAD-15	ネオレタン用増粘付与剤 粘度調整・たれ止め剤	15kg/袋	含水非質酸化ケイ素系増粘付与剤
副資材	フィライト	防滑材	0.25kg/袋 12袋/箱	ネオレタン・カラーに混合して防滑仕様になる
	ネオ・ベントップ	脱気装置	台座φ220mm×高200mm×キャップ径φ70mm 2個/箱	本体:特殊樹脂製 キャップ:ステンレス製
	ネオ・ベントップSUS	脱気装置	台座φ180mm×高210mm×キャップ径φ50mm 2個/箱	本体:ステンレス製 キャップ:ステンレス製
	ネオ・ドレン鉛	タテ型 鉛製ドレン ヨコ型 鉛製ドレン	φ40~100mm 2個/箱 φ30~140mm 2個/箱	改修工事用鉛ドレン (アルミダイキャスト製タテ用・ヨコ用ストレーナー別) *ネオレタンを塗布する際は、プライマーとして ネオレタン・プライマーUをご使用ください。
	ネオ・マットテープG	ネオ・マットS用短辺補強ジョイントテープ(併用可能)	幅100mm×長50mm 5巻/箱	粘着剤付きガラスクロス補強テープ
	ネオ・マットテープCK	ネオ・マットCK用ジョイントテープ	厚0.13mm×幅50mm×長50m/巻	粘着剤付き不織布フィルムテープ
	ネオ・マットボンドCK	ネオ・マットCK用接着剤	15kg/角缶	合成ゴム系接着剤(溶剤系)
	メジフィット	伸縮目地処理用テープ	厚1.0mm(剥離フィルム込)×幅100mm×長16m 2巻/包	粘着層付き極薄金属板テープ
	NR水切りテープ	アクリル粘着層付き パラペットアゴ下専用水切りテープ	50m/巻	

ウレタンゴム系塗膜防水材料

防水材料本体



■ネオレタンN

用途：平場用ウレタン防水材料
成分：JISA6021 ウレタンゴム系高伸長形
規格：18kg/セット(主剤6kg、硬化剤12kg)
24kg/セット(主剤8kg、硬化剤16kg)
硬化物密度：1.3
F☆☆☆☆対応品
登録番号 NUK-F07259

【環境対応】

*24kg/セットは受注生産になります。



■ネオレタンT

用途：立上り用ウレタン防水材料
成分：JIS A 6021 ウレタンゴム系高伸長形
規格：18kg/セット(主剤6kg、硬化剤12kg)
硬化物密度：1.4
F☆☆☆☆対応品
登録番号 NUK-F07260

【環境対応】



■ネオレタンS

用途：側溝・巾木用ウレタン防水材料
内容：JIS A 6021 ウレタンゴム系高伸長形
規格：18kg/セット(主剤6kg、硬化剤12kg)
硬化物密度：1.4
F☆☆☆☆対応品
登録番号 NUK-F14791

【環境対応】

プライマー



■ネオレタン・プライマー

用途：RC・モルタル下地用プライマー
内容：湿気硬化型ウレタンプレポリマー(溶剤系)
規格：15kg/角缶
標準塗布量：0.2kg/m²
F☆☆☆☆対応品
登録番号 NUK-F07263

【環境対応】



■ネオレタン・プライマーK

用途：塗り重ね(層間)用プライマー
内容：湿気硬化型ウレタンプレポリマー(溶剤系)
規格：4kg/角缶
標準塗布量：0.1kg/m²
F☆☆☆☆対応品
登録番号 NUK-F07264

【環境対応】



■EUプライマー

用途：ウレタン防水と加硫ゴムシート防水の取合い部用プライマー
内容：変性クロロプレキシ系
規格：3.2kg/セット(主剤3kg、硬化剤0.2kg)
標準塗布量：0.1kg/m²



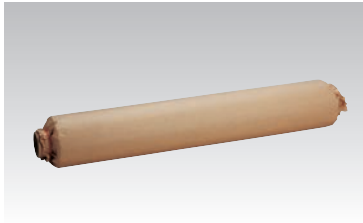
■ネオレタン・プライマーeco

用途：RC・モルタル下地用プライマー
内容：湿気硬化型ウレタンプレポリマー(弱溶剤系)
規格：16kg/角缶
標準塗布量：0.2kg/m²
F☆☆☆☆対応品
登録番号 NUK-F14790

【環境対応】

ウレタンゴム系塗膜防水材

補強布・通気緩衝シート・テープ

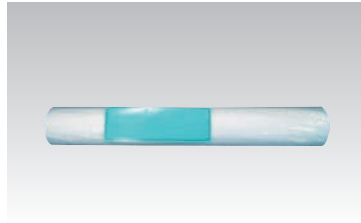


■ネオ・クロスG

用途：補強クロス材
成分：ガラスクロス（絡み織りタイプ）
規格：幅1000mm×長100m

■ネオ・クロスPC

用途：補強クロス材
成分：ポリエステルクロス
規格：幅1020mm×長50m



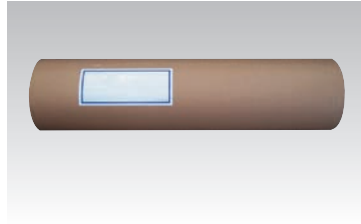
■ネオ・クロスCK

用途：補強クロス材
材質：ポリエステル長繊維クロス
規格：幅1020mm×長50m



■ネオ・マットS

用途：NRMS工法用複合通気緩衝シート
内容：特殊フィルム+改良アスファルト系自着タイプ
規格：厚1.4mm×幅1040mm×長15.7m



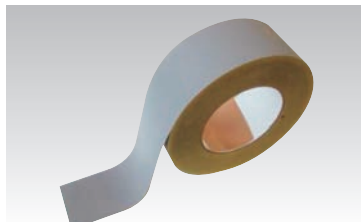
■ネオ・マットCK

用途：NRMC工法用通気緩衝シート
内容：穴なしポリエステル繊維不織布
規格：厚1.4mm×幅1000mm×長50m



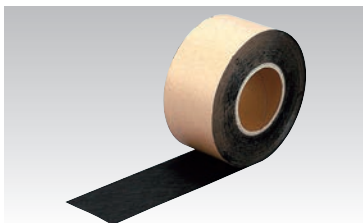
■ネオ・マット

用途：NRM工法用通気緩衝シート
内容：穴ありポリエステル繊維不織布
規格：厚1.0mm×幅1000mm×長50m



■ネオ・マットテープS

用途：ネオ・マットS用ジョイントテープ
内容：粘着剤付きポリエステルフィルムテープ
規格：厚0.05mm×幅50mm×長50m



■ネオ・マットテープT

用途：ネオ・マットS用端末・短辺ブリード防止用テープ
内容：ブリード防止層付きフィルムテープ
規格：厚0.47mm×幅75mm×長25m



■ネオ・マットテープM

用途：ネオ・マットCK用ジョイントテープ
内容：粘着剤付き不織布テープ
規格：幅70mm×長25m



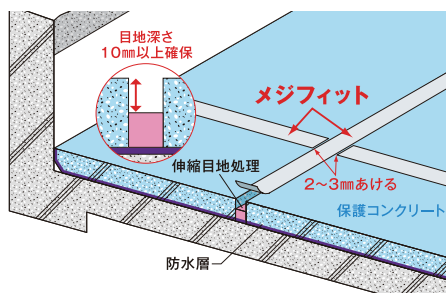
■メジフィット

用途：伸縮目地処理用テープ
規格：厚1mm（剥離フィルム込）×幅100mm×長16m/巻
単位：2巻/包

施工手順

- ① 下地を高圧洗浄します。
- ② 既存目地材の撤去
 - 1) 目地キャップを撤去します。※目地発泡体の撤去は現場監督者と協議します。
 - 2) 目地深さ**10mm以上確保**します。※必要に応じて目地発泡体も一部撤去します。
- ③ **目地周辺部の段差を下地調整材等にて補正を行います。**
- ④ メジフィットを張り付ける下地に、防水層に合わせたプライマーを塗布してください。
- ⑤ メジフィットの張り付け
 - 1) メジフィットどうしのジョイントは、2～3mm程度あけてください。
 - 2) 目地の十字部分は、重ね張りしないでください。
 - 3) メジフィット自体に巻キセが付いている場合は、補正して張り付けてください。
メジフィット端部のめくれ防止になります。
 - 4) 目地の中心に合わせてメジフィットを張り付け、ゴムローラーで転圧します。
- ⑥ 必要に応じてネオレタン・プライマーUを塗布します。
- ⑦ 通気緩衝シートを張り付けてください。

※コンクリート下地が濡れていると接着力が落ちてしまうので注意してください。
※メジフィット表層の極薄板の小口でけがをしないよう取扱いに注意してください。
※上記赤字部分は、不具合の発生原因になりますので、ご注意ください。



ウレタンゴム系塗膜防水材料

仕上塗料



■ネオレタン・カラー

用途：アクリルウレタン系仕上塗料
 内容：溶剤系(2液反応硬化)
 規格：15kg/セット(主剤5kg、硬化剤10kg)
 色調：グレー、ライトグレー、グリーン、ライトグリーン
 標準塗布量：0.2kg/m²
 ※フィライト(骨材)を混合することで防滑仕
 上げ対応可能
 F☆☆☆☆対応品
 登録番号 NUK-F07266

【環境対応】



■ネオレタン・シルバー

用途：アクリルウレタン系仕上塗料
 内容：溶剤系
 規格：16kg/缶
 色調：シルバー
 標準塗布量：0.2kg/m²



■ネオレタン・カラーeco+ (高日射反射率塗料)

用途：アクリルウレタン系仕上塗料
 内容：水性(2液反応硬化)
 規格：15kg/セット(主剤13kg、硬化剤2kg)
 色調：グレー、ライトグレー、グリーン
 日射反射率：グレー 81.7%、ライトグレー 81.9%、
 グリーン 78.3%
 標準塗布量：0.3kg/m²(0.15kg/m²×2回塗り)
 F☆☆☆☆対応品
 登録番号 NUK-F14795

【環境対応】



■ネオレタン・カラーeco

用途：アクリルウレタン系仕上塗料
 内容：水性(2液反応硬化)
 規格：16kg/セット(A液1kg、B液15kg)
 色調：グレー、ライトグレー、グリーン
 標準塗布量：0.2kg/m²
 F☆☆☆☆対応品
 登録番号 NUK-F14794

【環境対応】



■ネオレタン・カラーH (高耐候性・高日射反射率塗料)

用途：HALS入りアクリルウレタン系仕上塗料
 内容：溶剤系(2液反応硬化)
 規格：15kg/セット(主剤5kg、硬化剤10kg)
 色調：ライトグレー
 日射反射率：ライトグレー68.2%
 標準塗布量：0.3kg/m²(0.15kg/m²×2回塗り)



■ネオレタン・カラーAS (高耐候性仕上塗料)

用途：アクリルシリコン系仕上塗料
 内容：弱溶剤系(2液反応硬化)
 規格：15kg/セット(主剤6kg、硬化剤9kg)
 色調：グレー、ライトグレー、グリーン
 標準塗布量：0.2kg/m²

【環境対応】

添加剤



■ネオレタン ウレタン硬化促進剤

用途：ネオレタン用硬化促進剤
 内容：金属系硬化促進剤
 規格：1kg/角缶、15kg/角缶

ネオレタン硬化促進剤の添加方法について

- ①ネオレタンNの硬化剤(12kg)を予備攪拌する時に、ネオレタン硬化促進剤を硬化剤の2%(0.24kg)を添加する。
- ②予備攪拌した硬化剤にネオレタンNの主剤(6kg)を投入する。
 ※ネオレタンADを添加する場合には、主剤を投入する時に添加して下さい。
 ※主剤の缶に付着した液も全て掻き出して下さい。
- ③添加したネオレタンNを全体が均一になるまで攪拌する。
 (3~5分間程度)



■ネオレタンAD

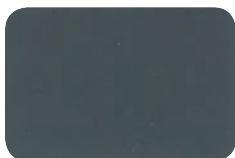
用途：ネオレタン用液体増粘付与剤
 ネオマット用目止め
 内容：ウレア系硬化増粘付与剤
 規格：4kg/缶
 ※計量カップは別売

ネオレタンADの添加方法について

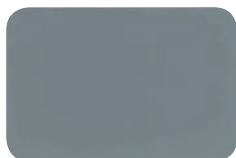
- ①予備攪拌したネオレタンNの硬化剤(12kg)にネオレタンNの主剤(6kg)を投入する。
 ※硬化促進剤等を添加する場合には、ネオレタンNの硬化剤を予備攪拌する時に添加して下さい。
 ※主剤の缶に付着した液も全て掻き出して下さい。
- ②硬化剤(12kg)に対し、ネオレタンAD2%(0.24kg)を添加する。
- ③添加したネオレタンNを全体が均一になるまで攪拌する。
 (3~5分間程度)

カラーサンプル

●ネオレタン・カラー



グレー



ライトグレー



グリーン

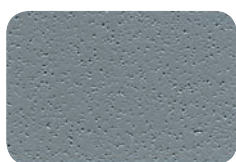


ライトグリーン

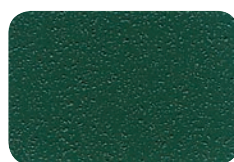
●ネオレタン・カラー（防滑仕上げ）



グレー



ライトグレー



グリーン

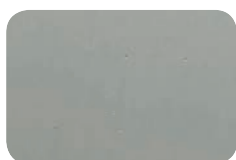


ライトグリーン

●ネオレタン・カラーeco+



グレー

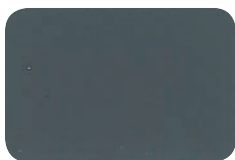


ライトグレー

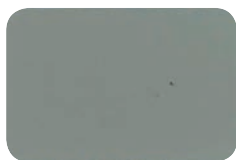


グリーン

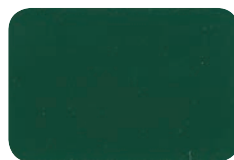
●ネオレタン・カラーeco



グレー



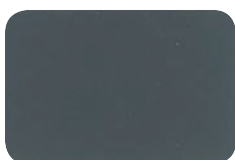
ライトグレー



グリーン

* 防滑仕上げ対応可能

●ネオレタン・カラーAS



グレー



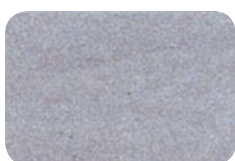
ライトグレー



グリーン

* 防滑仕上げ対応可能

●ネオレタン・カラーシルバー



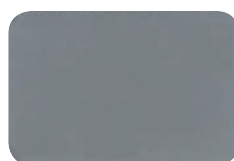
シルバー

●ネオレタン・カラーH

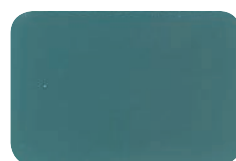


ライトグレー
* 防滑仕上げ対応可能

●ウレタン防水材



ネオレタンN



ネオレタンT

—印刷のため実物と異なる場合があります。—

高機能仕上塗料

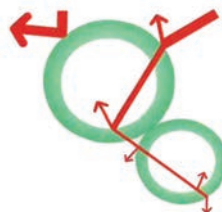
断熱セラミック ネオ・カラーガイナ

暑さ 寒さ 騒音 臭い 対策がひとつでできる



断熱メカニズム

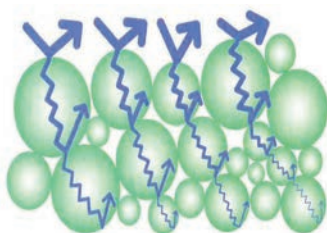
多層化したセラミックが、熱の放射効果により均衡化をもたらし、熱の移動を抑えます。



遮熱メカニズム

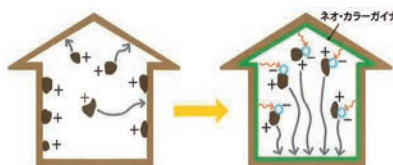
中空セラミックのプリズム効果により、反射と屈折を繰り返し、屋内に侵入するエネルギー量を減少させていきます。

*このメカニズムにより、ネオ・カラーガイナは表面が汚れても断熱効果は変わりません。



防音メカニズム

セラミックで反射し、空気中で減衰を繰り返し音の振動を軽減していきます。



防臭メカニズム

ネオ・カラーガイナは帯電性ゼロで、汚濁物質が付着しにくく、さらに、空気中の水分をイオン化し、汚濁物質と結合させ、浮遊しにくくします。

断熱・遮熱・防音・防臭に加え、

防露

結露の原因となる熱の移動を少なくすることで、結露の発生を軽減し、快適な住環境を実現。

耐久

紫外線に強いセラミックの多層化により、建物を長寿命化。

安全

水性であるネオ・カラーガイナは安心。有機溶剤などの危険物が無配合。

使用方法

- ネオレタン上に塗布する場合、プライマーとしてネオレタン・プライマーKをご使用下さい。
標準塗布量：0.1kg/m²
- 電動攪拌機にて3～5分程度十分に攪拌して、そのままご使用下さい。
- 刷毛、ローラー、コテ、エアコンプレッサー等で均一に塗布して下さい。
標準塗布量：35m²/14kg缶、0.4kg/m² (2回塗り以上)
- 塗布しにくい場合は希釈材として上水を足し、施工しやすい濃度にしてからご使用下さい。
希釈率の目安：刷毛・ローラー：0～1,500cc/14kg缶 ガン吹き：0～3,000cc/14kg缶

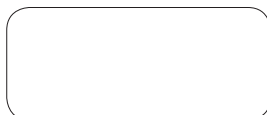
標準色



N-60



N-80



N-95

ネオレタン法規制

ネオレタンの特性

品名		規格値	ネオレタンN	ネオレタンT	ネオレタンS		
用途			平場用	立上り用	側溝・巾木用		
液特性	構成	JIS A 6021:2011 建築用塗膜防水材料 ウレタンゴム系高伸長形規格	主剤	硬化剤	主剤	硬化剤	
	混合比		1:2		1:2		
	外観		淡黄色透明液体	グレー粘稠液体	淡黄色透明液体	青緑色粘稠液体	
	固形分(%)		表示値±3.0	99	98	99	98
	粘度(mPa・s/25℃)		—	9500	9000	8000	ペースト
	可使用時間(25℃)		—	夏用90分・冬用60分		夏用90分・冬用40分	
	完全硬化時間(25℃)		—	7日		7日	
硬化物密度(Mg/m ³)		表示値±0.1	1.3	1.4	1.4		
引張性能	引張強さ(N/mm ²)	試験時温度23℃	2.3以上	3.9	6.0	5.9	
		試験時温度-20℃	2.3以上	11.1	15.5	14.0	
		試験時温度60℃	1.4以上	2.7	4.4	4.3	
	破断時の伸び率(%)	試験時温度23℃	450以上	738	720	670	
	抗張積(N/mm)	試験時温度23℃	280以上	576	951	780	
		破断時のつかみ間の伸び率(%)	試験時温度23℃	300以上	466	542	480
			試験時温度-20℃	250以上	558	532	580
	試験時温度60℃		200以上	336	364	350	
	引裂性能	引裂強さ(N/mm)	14以上	17	21	21	
加熱伸縮性能	伸縮率(%)	-4以上1.0以下	-0.3	-0.3	-0.2		
劣化処理後の引張性能	引張強さ比(%)	加熱処理	80以上	123	85	100	
		促進暴露処理	60以上	92	89	88	
		アルカリ処理	60以上	103	95	100	
		酸処理	80以上	92	80	81	
	破断時の伸び率(%)	加熱処理	400以上	805	700	740	
		促進暴露処理	400以上	720	690	710	
		アルカリ処理	400以上	763	733	700	
		酸処理	400以上	733	663	650	
伸び時の劣化症状	加熱処理	いずれの試験片にもひび割れ及び著しい変形があらわれない	異常なし	異常なし	異常なし		
	促進暴露処理		異常なし	異常なし	異常なし		
	オゾン処理		異常なし	異常なし	異常なし		
たれ抵抗性能	たれ長さ(mm)	いずれの試験体も3.0以下	—	0	—		
	しわの発生	いずれの試験体にもあつてはならない。	—	異常なし	—		

法規制関連

危険物類別	品名	危険等級	引火点	指定数量
4類1石	ネオレタン・プライマー ネオレタン・プライマー-K ネオレタン・プライマー-U ネオレタンプライマー-eco EUプライマー ネオ・マットボンド ネオ・マットボンドCK ネオレタン・カラー(硬化剤) ネオレタン・カラー-H(硬化剤) ネオレタン・シルバー	Ⅱ	21℃未満	200ℓ
4類2石	ネオレタン・カラー(主剤) ネオレタン・カラー-H(主剤) ネオレタン硬化促進剤 ネオレタンAD	Ⅲ	21℃以上~70℃未満	1,000ℓ
4類4石	ネオレタンN(硬化剤)	Ⅲ	200℃以上~250℃未満	6,000ℓ
指定可燃物	ネオレタンN(主剤) ネオレタンT(主剤・硬化剤) ネオレタンS(主剤) ネオレタン・カラー-eco(A液) ネオレタン・カラー-eco+(硬化剤)	—	—	—
非危険物	ネオレタンS(硬化剤)	—	—	—

注意事項

設計上の注意事項 (防水業者とご相談ください)

- 防水以外の目的で使用される場合は、使用目的を事前に防水業者とよく打ち合わせて、仕様を決定してください。
- 下地(デッキプレート、PCa、コンクリート等)の動きにより防水層にクラックやひび割れが入る場合がありますので、事前に構造等について防水業者とよく打ち合わせて仕様を決定してください。
- 下地の状態により防水層の仕上りに影響を与えたり、下地が乾燥しにくい構造(デッキプレートコンクリート仕上げ、ポーラスな軽量コンクリート・改修工事=既設保護層を撤去しない場合)や工期が短く乾燥時間が十分に取れない場合などでは、防水層にフクレ等の不具合を生じることがあり、密着工法から通気緩衝工法に仕様変更を必要とする場合があります。事前に防水業者とよく打ち合わせて仕様を決定してください。
- 押えコンクリートや水分の多い下地、動きのある下地(デッキプレート、PCa等)への防水施工は、通気緩衝工法や複合通気緩衝工法の仕様を選定してください。
- 下地は、コンクリートあるいはモルタル下地(金コテ仕上)とし、平滑で浮き・突起物などの欠損、エフロレッセンスのないようにしてください。新設の場合は、1ヶ月以上乾燥養生してください(下地は鏡面仕上しないください)。
- 貫通パイプ・ドレン等は、堅固に取り付け、下地と一体化させてください。
- ドレン部は、防水層の増塗りが必要です。増塗りしても排水できるように低めに勾配をつけてください。
- 横引きドレンについては、下金まで防水材料を塗布する場合があります。ドレンの蓋と下金との納まりが約3mm以上余裕のあるものを選定してください。
- 出入隅の形状は、入隅は通りよく直角、出隅は通りよく45°の面取りで仕上げているものとします。
- 下地の勾配は、1/100~1/50にしてください。

施工上の注意事項 (事前に施工仕様書・各材料説明書等をお読みください)

〈天候について〉

- 降雨、降雪時または降雨、降雪が予想される場合や降雨・降雪後、下地が未乾燥の場合は、施工を中止してください。
- 標準施工温度は10~35℃とします。最低施工温度は5℃です。温度が低い場合は、硬化が遅くなりますので、必要に応じて硬化促進剤を使用してください。
- 湿度が80%以上を越える場合は、施工を中止してください。

〈下地について〉

- 下地は、十分に乾燥させてください。
- 下地のクラックは、リカットしてポリマーセメントモルタル、ポリマーセメントペースト、またはポリウレタン系シーリング材を充填してください。
- 下地の突部や突起物は、サンダー等を用いて平滑にしてください。
- 下地の素穴やへこみなどは、ポリマーセメントモルタル、ポリマーセメントペーストを用いて平滑にしてください。
- レイタンスや表面強度のない下地は、サンダー・ケレン棒を用いて削り、強固な下地を出すか、下地調整材を用いて強固な下地を作ってください。

〈作業環境について〉

- 施工において、周囲では火気を使用しないでください。
- 室内の施工においては、十分換気に注意してください。換気の悪い場所では、有機溶剤用防毒マスク等を着用して適切に換気処置を取ってください。
- 混合・攪拌する際は、保護マスクを着用し、皮膚に付かないように保護手袋や、眼に入らないように保護眼鏡を着用してください。
- 施工後は、硬化するまで立入禁止としてください。

〈施工上の注意〉

- 配合比率を厳守し、適切な工具を用いて施工してください。
- 混合容器の底部に付着した混合液は、混合が十分でない場合があります。そのままかき出して使用せず、十分に攪拌し直すか、または使用を控えてください。
- ネオレタンを希釈する場合は、キシレンまたはトルエンを用いて5%(重量比)以内としてください。(冬期の気温が低く塗布作業及び塗布後のレベリングが困難時のみ希釈可)
- 防水材料の施工後、ピンホールやフクレ等は、工程毎に補修処理をしてください。

維持管理上の注意事項

- 6ヶ月毎に屋根や防水層面の清掃を行ってください。特に排水口回りと入隅部分の泥や枯れ葉等を除去してください。
- 定期的に次のような点検を行ってください。異常が認められた場合は施工業者に連絡し補修を行ってください。
 - ☆保護塗料が薄くなっている箇所、ひび割れ箇所、剥離している箇所がないか。
 - ☆防水層に亀裂、フクレ、剥離が生じていないか。
- 保護塗料は、防水層の劣化を抑制し美観の維持・向上に効果があります。劣化状態に応じて有償で保護塗料の塗り替えを行ってください。
- 防水層の洗浄液には、家庭用中性洗剤以外の薬品は使用しないでください。酸・塩素系の洗剤は、防水層を変形・損傷させる恐れがあります。
- 防水層の洗浄には、金属ブラシや金属タワシは使用しないでください。防水層に傷がついたり損傷する恐れがあります。柔らかい布や雑巾で清掃し、十分に乾燥してください。

防水層利用上の注意事項

- 防水層の上を歩行する際には、靴底の柔らかい履物を使用してください。防水層を傷つける恐れのあるハイヒール、スパイク等の履物は、使用しないでください。また、粗面仕上になっている場合は、つまずく恐れがありますので走らずに、歩行には十分に注意してください。
- 防水層の表面が濡れているときは、滑りやすいので十分に注意してください。また、バルコニー等でモルタル仕上から露出防水へ改修工事を行った場合には、降雨時の雨水が浸透せずに防水層の上に溜まり、自然乾燥するまでに時間がかかる場合があります。
- 防水層の上や付近では、花火や焚き火等の火気を使用しないでください。飛び火によって防水層が燃焼、変質する恐れがあります。
- 防水層の上にタバコの投げ捨てやタバコの火種を落としたりしないでください。防水層が燃焼し変質して、穴が開き漏水する恐れがあります。
- 防水層の上に油・酸等の腐食性の液体や、化学薬品・ガソリン・灯油・塗料・溶剤・肥料等をこぼさないでください。また、ダクトや煙突からのミスト、油煙等の混じった排気のないようにしてください。防水層が変色・膨潤・劣化して防水機能を損なう恐れがあります。
- 防水層の上では、ペットの飼育をしないでください。動物の爪や歯で防水層に傷をつけ、排泄物が防水層を劣化させる恐れがあります。
- 防水層の上での植栽は行わないでください。排水溝を詰まらせたり植物の根によって防水層を損傷させる場合があります。
- 防水層の上で激しい運動やゴルフの練習・自転車・一輪車等の運転をしないでください。タイヤや靴底のカートの荷重によって、防水層に損傷を与える恐れがあります。
- 防水層の上には、運搬作業や設計時に予定した以外の重量物は置かないでください。重量物による防水層の変形や損傷の恐れがあります。
- 防水層の上に重量物やテーブル、椅子等を置いたりスノコ等を敷く場合は、接地部にゴム板などで保護・養生してください。ゴム板等で養生しないと、防水層に損傷を与える恐れがあります。
- 防水層の上に重量物を落としたり、鋭角なもので傷つけないでください。防水層の変形や損傷の恐れがあります。
- 防水層の上で作業をする場合は、ベニヤ板等で養生してください。カッターナイフ等の使用は、防水層に損傷を与える恐れがあります。避雷針・アンテナ・空調機器等を設置する場合は、防水層の上には直接設置せず、ゴム板等の下敷き材の上に設置してください。
- 防水層を新たに貫通させるような作業・機械機器の設置は、行わないでください。防水層に穴が開き、漏水する恐れがあります。釘やビス打等の打ち込みは、行わないでください。

取扱い上の注意事項

- 製品は、「消防法」、「労働安全衛生法」、「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」並びに、それらの法規制を受けますのでこれらを理解し、安全に作業を行ってください。(詳細については、P24の商品別の項を参照願います。)
- 消防法上の危険物に該当する製品がありますので、取扱を厳守し、保管管理をお願いします。製品は、業務用に限定しておりますので、一般の方はご使用できません。防水施工は、専門業者にご依頼ください。
- 防水材、プライマー、接着剤等には、特定化学物質を含む製品があります。作業する場合は、特定化学物質作業主任者の講習を受けた方から作業主任者を選任してください。

〈事故防止の注意事項〉

- 火気厳禁とし、火気を近づけたり火気のある場所で使用しないでください。
- 取扱う場所には、必要に応じて局所排気装置を設置してください。
- 取扱い中は、適切な保護具(防毒マスク、ホースラインマスク、メガネ、手袋等)を着用して作業を行ってください。

〈応急処置〉

- 眼に入った場合は、速やかに流水で15分以上洗ってから眼科医の処置を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、大量の水と石鹸で洗い流し、また大量の蒸気を吸入した場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合は、安静にし、直ちに医師の診断を受けてください。なお、無理に吐かせないでください。

〈製品の使用上の注意事項〉

- 製品を取扱う前に製品カタログ、安全データシート(SDS)等をよく読んで理解してから使用してください。
- 使用後の容器の潰し作業はあらかじめ養生してから行ってください。
- 液がこぼれた場合は、ウエスでふき取るか、砂等で流出しないように吸い込ませ除去してください。
- 主剤と硬化剤の混合比は、定められた配合比率を守ってください。他の製品と混合しての使用は、硬化不良の原因となります。
- 小分けして使用する場合は、液を事前に攪拌混合してください。
- 主剤と硬化剤等の混合作業は、電動攪拌機を使用して混合ムラがないように十分に攪拌混合を行ってください(3~5分間)。
- 塗布作業は、金コテ・ゴムベラ等で均一に塗布してください。
- 主剤と硬化剤を攪拌混合した液は、速やかに使用してください。
- 作業着に付着した場合は、その汚れを落としてください。
- 取扱い後は、手洗い、うがいを十分に行ってください。

〈廃棄方法〉

- 使用済みの空缶、材料の付着した手袋、ウエス、使用済みの溶剤等は、専門の廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 容器内に出来るだけ液を残さないようにし、主剤と硬化剤を混合して固めてから専門の廃棄物処理業者に委託して処理してください。

〈保管方法〉

- 消防法上の危険物は、法に従って保管してください。
- 危険物の保管には、数量により貯蔵の届け出、許可等の手続きが必要な場合があります。
- 一定場所を定め、直射日光、雨の当たらないように保管してください。
- 保管中はかならず容器を密閉し、日光、雨等に当たらないように保管してください。また、密閉した容器でも、容器とキャップの熱膨張・収縮の差によって湿気や降雨等の水分が製品内に入り異常反応する場合があります。高温多湿の場所や雨が当たる場所は避けて保管してください。
- 屋外に保管する場合は、周囲をトタン板等不燃材で囲い、下に板・シート等を敷き、かつ全体を覆ってください。



三ツ星ベルト株式会社 建設資材事業部

<https://www.mitsuboshi.com>

神戸本社	〒653-0024	神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 ☎(078)685-5771 FAX(078)685-5681 www.mitsuboshi.co.jp
東部建築課	〒103-0027	東京都中央区日本橋2丁目3番4号 ☎(03)5202-2506 FAX(03)5202-2526
近畿建築課	〒653-0024	神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 ☎(078)685-5791 FAX(078)685-5789
西部建築課 (広島事務所)	〒738-0004	広島県廿日市市桜尾2丁目2番39号 ☎(0829)32-9292 FAX(0829)32-9294
名古屋営業所	〒485-0077	小牧市大字西之島1818番地 (三ツ星ベルト株式会社 名古屋工場内) ☎(0568)41-7600 FAX(0568)41-7601
札幌営業所	〒062-0902	札幌市豊平区豊平二条3丁目1番17号 ☎(011)841-9131 FAX(011)812-9370
福岡営業所	〒812-0888	福岡市博多区板付1丁目3番1号 ☎(092)441-4453 FAX(092)451-7186
四国事務所	〒769-2401	香川県さぬき市津田町津田2893番地 ☎(0879)42-3189 FAX(0879)42-2295

- ①最新のカatalogかどうか、お確かめください。
- ②ご不明の点がありましたら、上記の本社、支店、営業所までお問合せください。
- ③お断りなく、記載内容を変更する場合があります。



この印刷物は環境に優しい大豆油インキを使用しています。



この印刷物は、E3PAのシルバー基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA:環境保護印刷推進協議会
<http://www.e3pa.com>



W22601002009UR19553782